

【令和六年度 授業改善推進プラン】

板橋区立西台中学校

【国語】

■生徒の状況	・ 授業での学習内容を理解することは概ねできており、意欲的に取り組んでいる。 ・ 文法に関する問題や表現技法に関する内容、自分の考えを「記述」する学習活動を苦手とする生徒が多い。
■指導する上での課題	・ 「知識・技能」の内容について、文法や表現技法に関して授業では理解を示すが、その学力の定着に課題がある。 ・ 「読むこと」について、自分の考えをもちながら文章を読む活動を充実させる必要がある。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・ 学習内容を反復学習させるために、小テストの実施や一人一台端末を活用しながら学習に取り組む機会を増やす。 ・ 文章を掘り下げて読ませ、考えを深められるよう発問を増やす。一人一台端末などを活用しながら、考えに触れる機会を増やす。 ・ さまざまな考えから気づきや自信が生まれるようにする。

【社会】

■生徒の状況	・ 学習内容を知識として身に付けている生徒が一定数いる。一方で、身に付けた知識と資料を結び付けたり、理解したことを文章化したり、説明したりすることに課題がある。
■指導する上での課題	・ 資料の着目すべき点を指導する必要がある。 ・ 文章化させる問いの設定を行う必要がある。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・ ドリルパークなどを活用し、引き続き知識の定着を図る。 ・ 教科書や地図帳の資料を活用するとともに、一人一台端末を活用して資料から読み取れたことや自分の考えを共有させる。 ・ グループワークや発表の場を設け、理解したことを文章化したり、説明したりできるようにする。

【数学】

■生徒の状況	・ 基礎的な知識や計算技能を概ね身に付けている。 ・ 文章を読み取り、数学的に表すことを苦手とする生徒が多い。
■指導する上での課題	・ 「思考・判断・表現」の観点において、文章を正しく読み取り数学的に捉えることや、考えた内容を式や文で表現する能力を身に付けさせる必要がある。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・ 小テストやドリルパークなどで基礎の定着を図る。 ・ 個人・グループでの学習時間を充実させ、自分で考え、共有し、理解を深められるようにする。 ・ 音読や一文一文に着目していくことで、文章から必要な情報を正しく読み取り、数学的に捉えることを意識し、文字や式で表すことができるようにする。

【理科】

■生徒の状況	・多くの生徒が日常生活と結びつけて主体的に学習に取り組むことができる。 ・計算などが絡んでくると理解度に差が生じやすい。
■指導する上での課題	・計算問題にはできる限り1人1人に時間をかけて指導していく。 ・思考力を向上するために、考察を行う時間などを多くとる必要がある。また、グループワークで意見共有をする時間を取り、表現力の向上にも繋げていく必要がある。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・難易度別の問題を用意するなど、自分に合った問題が解けるようにしていく。 ・実験では、予想→結果→考察の流れをしっかりと意識させ、レポート作成の時間を取る。

【音楽】

■生徒の状況	・多くの生徒が主体的・意欲的に学習に取り組んでいる。 ・少人数のグループ活動には興味をもって取り組んでいる。
■指導する上での課題	・創意工夫して表現する力を身につける。 ・到達目標を理解して主体的に課題に取り組む力をつける。 ・フォームによる振り返り入力の習慣を定着させる。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・合唱活動では、スペースのとれる場所でパート練習を行うなど、授業の方法を工夫していく。 ・多様な音楽を取り上げて、音楽を形作っている要素や構造と曲想との関わりを感じ取る活動を行う。 ・曲の特徴をつかむことができるよう、その背景となる風土や文化、歴史等と関連付けた指導を行う。

【美術】

■生徒の状況	・毎回の到達目標から授業の課題を意識し、集中して授業に取り組むことができる。
■指導する上での課題	・心豊かに表現する力を身につける。 ・到達目標を理解して主体的に課題に取り組む力をつける。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・作業工程の説明や鑑賞活動において、ICTを活用することで生徒の理解を深め、知識・技能の向上を図る。 ・表現意図を文章化し、生徒同士で意見交換を行うことで、思考力・判断力・表現力の向上を図る。

【保健体育】

■生徒の状況	・自他の安全に留意し積極的に学習に取り組んでいる。 ・イメージから体を動かすことにつなげられる生徒とそうでない生徒の二極化傾向が見られる。
■指導する上での課題	・主体性をもって運動に取り組めるようにする。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・何のためにその運動をしているのかを理解できるように到達目標を掲示し、振り返り等によって学習の定着を確認していく。 ・タブレットを利用して互いの技能の様子を確かめ合い、課題解決に向けたアドバイスができるペア学習やグループ学習を行う。 ・自己の課題解決に向けたロジカルシンキングを意識させ、主体性を育てていく。

【技術・家庭】

■生徒の状況	【技術】 ・説明をしっかりと聞き、理解して、安全に積極的に作業に取り組んでいる。 【家庭】 ・毎回の到達目標から授業の課題を意識し、集中して授業に取り組むことができている。
■指導する上での課題	【技術】 ・Chromebookを利用し、ICT化を進めることで情報機器の活用能力を高める。 【家庭】 ・「家庭科の見方・考え方」を理解し、生徒の実生活に生かせる知識・技能を習得させる。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	【技術】 ・Chromebookを利用し、分かりやすい映像や画像を活用して学習の見通しをもたせていく。また、振り返りシートなどを様々な場面で活用する。 ・工具・機械類の安全面を強化する。 【家庭】 ・図や写真を用いて、授業内容と生徒の実生活に関連づける。 ・Chromebookを利用し、作業工程をいつでも確認できるようにする。

【外国語】

■生徒の状況	・到達目標を意識し、学習内容の見通しをもって授業に取り組んでいる生徒が多い。 ・授業中に学習したこと・理解したことが、十分定着していない生徒が多い。
■指導する上での課題	・授業で学んだことを定着させるため、予習・復習の習慣化を図る。 ・音読及び反復練習と、自己表現活動の双方を充実させる。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・授業の振り返りを自分の言葉で書き、自分の学習課題を明確にするよう指導する。 ・ペア学習やグループ学習を通してコミュニケーション力を育み、主体的な言語活動に結びつくよう指導する。 ・ノート作成やデジタル教科書を活用した学習の手立てを示し、家庭学習を支援する。

【総合的な学習の時間】

■生徒の状況	・自らの課題に対して調べたり、発表したりする活動に意欲的に取り組んでいる。
■指導する上での課題	・自らの課題を調べる力が高いが、探究心をもって考えを深めようとする姿勢を伸ばしたい。 ・学習をわかりやすく伝えるために、創意工夫し、より良い発表に向けて高めていこうとする姿勢を育てたい。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・3年間の学習の繋がりをもたせる指導計画を立てる。一人一人に興味・関心をもたせ、主体的に課題を設定し、課題解決に向かわせる学習活動を、3年間の見通しをもたせて実施していく。 ・自らの生き方に関わる職業調べや進路学習など、自分自身にとって密接な課題を取り上げることで、学習内容への興味・関心を高め、3年間を通して自ら学んでいく姿勢を養う。 ・学習の発表を振り返らせることで、より良い発表の創意工夫に気づかせ、互いに学び、高め合えるようにする。

【特別の教科道徳】

■生徒の状況	・さまざまな内容項目に対して、ワークシートを用いて自分の考えをまとめたり、他者と意見を共有したりしながら、テーマについて意欲的に考えている。
■指導する上での課題	・自分の内面を改めて見つめ直し、自分のものの見方や価値観を広げ、自分とは違う考え方も受容できる態度を育てたい。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・意見共有の活動を通して多様な価値観に触れさせ、自分の価値観や捉え方を掘り下げることができるよう、展開や発問を工夫する。 ・自分の内面の変化を見つめられるような発問や振り返りを実践する。